



放課後子ども教室

和木学園

わきあいキッズ



和木学農園



「居場所」と「豊かな体験」を提供。令和2年度「地域学校協働活動」推進に係る文科大臣表彰受賞

老若男女問わず、様々な講座を開設し、町民のみなさんの豊かな社会教育を実践

地元企業との連携

コンビ学習



和木町コミュニティ・スクール委員会



日本最初の石油科学コンビナートとコンビを組んで化学教室を開催

子どもたちの豊かな成長をめざし、関係者が情報や思いを共有しながら取組を推進

和木町の推進構想

1 地域連携教育の「成果」と「課題」

- 「町ぐるみ」の協力体制が構築され、好事例が生まれている。
- 思いの共有に繋げるための話し合いを工夫して行っている。園小中一貫教育や園児児童生徒の参画の在り方を意識した取組も増えている。
- 各自が自分の言葉で「和木学園を語れるか」という部分は課題である。
- 地域人材が固定化し、高齢化が進んでいる。(⇒継続性のある「みんなの和木学園」へ)
- 周知の面では、地域に対してやや問題がある。

2 「課題」解決に向けた重点取組事項

- ・当事者意識の高まりややる気につながるコミュニティ・スクール3部会での熟議の実施
- ・心通うあいさつの充実をめざした取組の工夫
- ・新たな人材の発掘・育成を意識した繋がりづくり、活躍の場の創出

3 重点取組事項の進捗を測る指標

- ・当事者意識の高まりややる気につながる活動への参加人数
- ・「あいさつチャレンジデー」の実施による町民の意識の変容
- ・和木学園講座のネットワークを利用した声かけの人数
- ・PTAや家庭教育支援チームメンバーとの活動回数について、昨年度と比較しての増減

町ぐるみ「和木学園」構想

緑の風薫る文化のまち和木町
～あいさつと笑顔あふれるまち～

子ども子育て支援のテーマ
「わきは あったか 大家族」・・・教育・文化のまちづくり

